

## 青森県外国人相談窓口「ワンストップ相談会」を行いました

11月7日(土)、青森県国際交流協会ではワンストップ相談会を開催しました。

当協会では昨年5月、青森県観光物産館アスパム2Fに青森県内の在留外国人のための窓口を開設し、11月には「青森県外国人相談窓口」として本格的なスタートを切りました。1年余りが経過した現在、外国人からの相談は日々少しずつ増え、その内容も多様なものになりました。

2020年度の第1回目ワンストップ相談の開催は6月上旬を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期となり、この日が初めての開催となりました。

この相談会では、的確なご助言や情報提供をいただくために、仙台出入国在留管理局青森出張所や青森労働局、青森県弁護士会、青森県司法書士会、法テラスなど専門機関の方々に来ていただきました。また、円滑に相談を進めるために青森県内の外国人通訳者にご助力をお願いしました。

今回は事前に相談の予約はありませんでしたが、それぞれの通訳相談員がこれまでの体験を通して困ったことなどについて専門機関の方々に以下のような相談をしました。

**相談1** 在留カードを更新する際パスポートの提示を求められているが、コロナ禍で手続きができないまま有効期限が切れてしまいました。この場合、在留カードの更新はできますか？

**専門機関からの回答** → 期限が切れた理由を確認しますが、更新は可能と思われます。

**相談2** 大使館職員を名乗る人から電話があって「あなたのパスポートのコピーを持った人が逮捕されました。あなたも事件に関係あるのではないですか」と聞かれました。とても不安です。

**専門機関からの回答** → 詐欺の電話と思われます。無視をしても大丈夫です。

上記以外にも、財産や雇用契約などの相談に対して専門機関の方々に、真摯に具体的な対応策を示していただき、相談者は「安心しました」「思い切って相談してみてよかった」と感想を述べています。

「青森県外国人相談窓口」の開設以来、様々な研修に参加しその中で「相談がないことは決して悪いことではない」と言われることがあります。一方、相談がないというのは、相談がしたい人に情報が届いていない、あるいは相談しやすい環境が充分ではないとも考えられます。これまでの広報活動に加えSNSの積極的活用や相談体制の見直しなど、さらに検討を重ねます。



専門機関との相談体験

青森県国際交流協会ではこれからも試行錯誤を重ねながら、青森県に暮らす外国人の方々が快適に暮らすための相談窓口の体制にしたいと思います。当相談窓口に対しまして、多くの方々からのご意見などをお待ちいたします。

なお、次回の「ワンストップ相談会」は、2021年2月13日(土)を予定しています。また、2021年度以降も開催を予定していますので、お気軽にお越しください。

## 青森県外国人相談窓口 第2回「ワンストップ相談会」のお知らせ

青森県在住の外国人を対象に、在留資格、職場の問題、法律問題などの専門家が相談に応じます。相談にあたっては当協会の通訳相談員が同席し、スムーズな相談に努めます。

日時：2021年2月13日（土）13：00～16：00

場所：アスパム5階 会議室「白鳥」「夏泊」

専門相談機関：青森県弁護士会、仙台出入国在留管理局青森出張所、  
青森労働局監督課、法テラス 等

\*ご相談は、事前予約をお願いします。

\*くわしくは青森県国際交流協会のホームページをご覧ください。

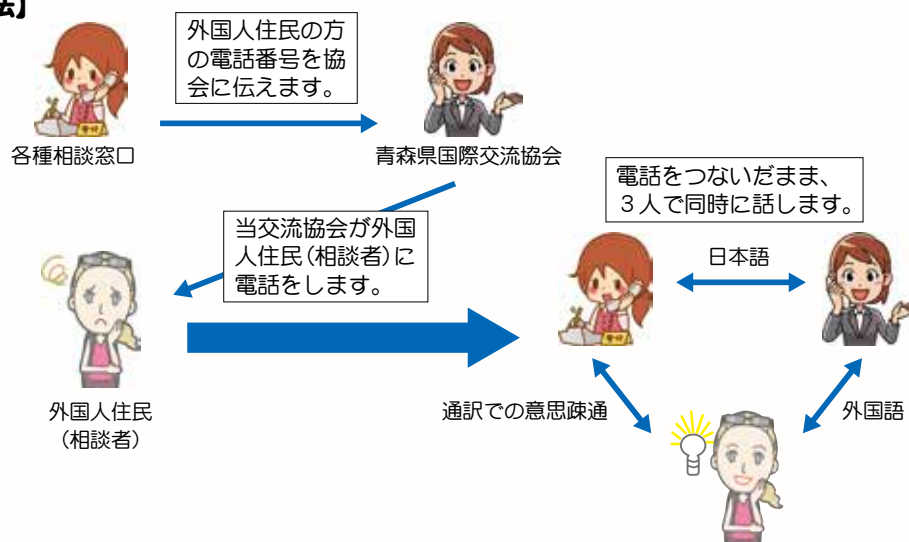
## 外国人相談窓口 三者通話のご案内

### 三者通話による通訳サービスをご利用ください!!

三者通話電話は、3人で同時に話すことができるシステムです。このシステムを使って、青森県外国人相談窓口の相談員が通訳のお手伝いをします。日本人の方もご利用できます。必要なときは、お気軽にご連絡ください。

- ◆TEL：017-718-5147
- ◆時間：10時～14時（火曜日～土曜日）
- ◆言語 ベトナム語：火 / 中国語 水・金 / 英語：水・土 / 韓国語：木

#### 【利用方法】



\* 外国人の方で日本の通信会社 (docomo/au/SoftBank) などの電話番号を持っていない場合は Facebook Messenger 又は Wechat の電話機能により当協会の携帯電話アプリとつなげて、通訳を行います。

Facebook



Wechat



WeChat QRコードを読み取るときは、WeChatのスキャンカメラを使うことをおすすめします



## 2020年度「青森県日本語指導サポーター養成講座」 日本語指導実習と修了式を行いました

2020年度の本講座は今年6月に開始しました。受講生は「日本語教育とは何か」、「外国につながる子どもとは?」、「外国人に対する日本語教育施策」、「介護の日本語」などの講義とともに、ワークショップなどを行い、10月17日には県内在住外国人を生徒役に実習を行いました。

全11回（全33コマ）の講義のうち、終盤は3回にわたり「日本語指導実習」をテーマに実習発表の準備に取り組みました。「日本語指導実習」の1回目では「授業の心構えと教材分析」、2回目では「教案の書き方」などについて講師の指導を受けつつ、受講生は2名ずつのグループで、教案作成、模擬授業の練習などを行い、



修了式の様子

最終日の「日本語指導実習発表」の準備をしました。

最終日には緊張感のなか実習発表が無事終了し、講師の先生方から評価及び指導のスキルアップにつながるアドバイスを聞きました。最後の修了式では、昨年度の41名に続き、新たに26名が修了証を授与され「青森県日本語指導サポーター」に登録されました。

当講座は2021年度も引き続き開講を予定しております。来年度の開催日程や募集要項などについては、当協会のホームページなどを通してお知らせします。

※来年度の受講生募集は2021年2月以降に行う予定です。



日本語指導実習発表の様子

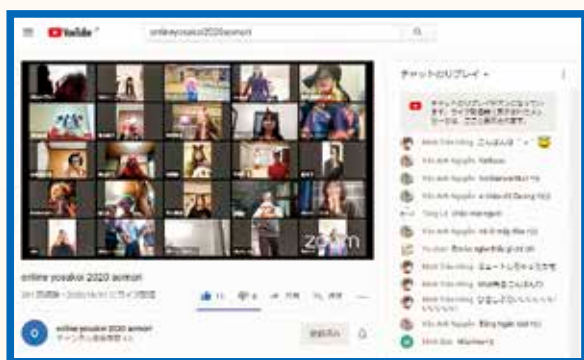
## — 世界とつながる — よさこい交流 on ZOOM

これまで「AOMORI花嵐桜組」の協力により、地域住民と在住外国人との交流事業を行ってきました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大により形を変えオンラインでの交流になりました。青森市民ホール、各参加者を結んでの「よさこい交流 on ZOOM」。ベトナム語通訳は「AOMORI花嵐桜組」と交流を重ねているハノイのよさこいチーム「ユーリス」のフォン・ズオンさん、フィリピン参加者のための英語通訳は当協会スタッフが担当しました。

8月30日（日）、9月27日（日）に練習を兼ねた交流を行い、10月31日（土）に参加者全員で「桜小町」（ナオトインティライミ）の曲に合わせて踊りました。この日はハローウィン当日。カボチャや魔女、ネコやら悪魔、はたまたコウモリなど参加者は工夫を凝らした仮装で画面に登場しました。参加者はこれまでの練習を生かした踊りを披露しつつ、全員の仮装を楽しみました。

ベトナムと青森ではマイナス2時間の時差があり、交流が始まったのはベトナムの夕方5時（青森は夜7時）。交流が進むにつれ夕空がだんだん暗くなっていく様子も楽しめました。ZOOMを利用した初の企画でしたが、試行錯誤を重ね最終日の交流はYOU TUBEでのライブ配信も行いました。今回の交流事業の参加者は3回合わせて、のべ110名（うち、在住外国人9名、ベトナム在住参加者31名）。

当日の交流の様子は、下記URLでどうぞご覧ください。



URLはこちら



交流が始まったのはベトナム時間の夕方5時。明るかった夕空がだんだん暗くなっていきました。

## 「地域で育むBOSAI力講座」を開催しました

— 八戸国際交流協会 —

令和2年10月18日(日)、八戸市上長公民館で、「地域で育むBOSAI力講座」を、八戸国際交流協会と八戸市連合町内会連絡協議会、及び八戸市の共催で開催しました。これまで八戸国際交流協会では、平成25年から外国人のみを対象とした防災教室を開催してきましたが、日本人と一緒に学ぶ防災教室は初開催でした。一緒に学ぶことでより実用的な訓練となり、多文化共生に向けた顔の見える関係づくりのきっかけとすることを目的に開催しました。当講座には、上長地区在住の日本人15名と、同地区で技能実習生として働いているフィリピン人15名が参加しました。

第一部では、日本人とフィリピン人が別々に講義を受けました。日本人向けには、岩手大学国際教育センターの松岡洋子教授をお招きし、やさしい日本語を使った外国人とのコミュニケーションについて講義していただきました。フィリピン人向けには、八戸市防災危機管理課の木本聡主査が、災害の種類や避難所について講義しました。

第二部では、避難所についてのロールプレイを行いました。日本人とフィリピン人が一緒にグループになり、カードを使った避難所で想定されるコミュニケーションの練習や、外国人にも伝わりやすい掲示板づくりをしました。日本人はやさしい日本語や身振り手振りを駆使して、フィリピン人に伝えようとしていました。参加者からは、「わからない日本語があったが、災害について学ぶことができた」、「外国人対応についてとても勉強になり、今後も互いに理解し合う機会を設けていきたい」などの声をいただきました。

今回は地域を限定して実施しましたが、上長地区を選定した理由は、今年の1月に当協会が同地区でフィリピン人との交流イベントを開催していたからです。

このイベントは青森県国際交流協会と共催で実施しました。フィリピンの料理作りや「AOMORI花嵐桜組」のよさこい踊りの鑑賞を通じて交流を深めた、大盛況のイベントでした。これを経て継続したつながりを構築するために、上長地区で今回のBOSAI力講座を実施しました。

日本人と外国人の双方が参加する防災講座は、来年度以降も実施していきたいと考えています。今回は地区を限定しましたが、参加者数や開催回数を増やすなどして、多くの方が異文化理解や災害知識を学ぶ機会を創出できるように取り組んでいきたいと思います。



フィリピン実習生向け講義の様子(上)と日本人向け講義の様子(下)



ロールプレイに取り組む参加者





## \* 三沢基地内大学県民就学推進事業 \*

三沢基地内には、メリーランド大学（UMGC：University of Maryland Global Campus）及びトロイ大学院（TU：Troy University）があり、日本人も就学することができます。米国本土で公認されている準学士号・学士号・修士号を取得するため、平成2年より多くの方が就学しています。

# 三沢基地内大学説明会を開催しました

日時：2020年11月14日（土）

場所：三沢市国際交流教育センター



2021年春期就学生募集のため説明会を開催しました。三沢市をはじめ、八戸市、五戸町、階上町等、また、県外では岩手県から、全部で23名の10～50代の幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。

説明会では応募方法、各大学の概要説明、また、実際に就学している就学生より学生生活についてお話をいただきました。現在は新型コロナウイルスの影響により基地内の大学に通学することができず、各自自宅にてZoomを利用したオンライン授業を行っており、授業の受け方やその様子、宿題の提出や就学生同士の交流等、詳しくお話をいただきました。

基地内大学に入る目的や生活スタイルは就学生ごとに異なり、勉強にあてる時間の確保やモチベーションの維持等、困難も多くあると思いますが、就学生の「迷っているならやってみたほうがいい！」というメッセージと共に、充実した表情が基地内大学の魅力を物語っているように感じました。県内留学について前向きに検討しようと背中を押された参加者も多かったのではないのでしょうか。



パネルディスカッションの様子

パネリスト：UMGCブリッジプログラム2名・レギュラーコース1名

三沢基地内大学に関する事務は、2021年4月より三沢市が行うこととなりました。今後は、募集時期を年1回に集約し、春期就学生（3月期生）の募集のみを行う予定としています。三沢市に移管した後におきましても、「県内留学 / 三沢基地内大学」の魅力の皆様に分かりやすく届けていくこととしております。

お問合せ先につきましては、2021年3月までは当協会へ、2021年4月以降は三沢市国際交流課（TEL：0176-51-1255）へご連絡くださいますようお願いいたします。



# 寒い冬が来ました。雪が降る季節になりました。

あおもり ことし も ゆき きせつ です。たくさん ゆきが 降る かもしれません。

ゆき きせつ は 危ないことが たくさん あります。気をつけて ください。



- 雪の道は とても 滑ります。雪の道は 氷のように なります。
- 滑らない 靴を はいて ください。ゆっくり 歩いて ください。
- 走らないで ください。とても 危ないです。
- 手を ポケットに 入れて 歩くと 転ぶことが ある かもしれません。

- 雪の道で 転ぶと 大きな けがを することが あります。
- 道が とても 狭くなります。自動車に 気をつけて ください。
- 横断歩道は とても 滑る ところがあります。
- 雪の道で 自転車に 乗らないで ください。



- 階段や 坂の道は とても 滑ります。
- 除雪車 <たくさん降った雪をかたづける大きな車> の 近くに 行かないで ください。とても 危ないです。



- 家や 建物に 近づかないで ください。とても 危ないです。
- 屋根から 雪が たくさん 落ちてくるかも しれません。
- 屋根から 重い 氷が 落ちてくるかも しれません。



- 雪が たくさん 降って 風が とても 強くなります。
- 傘を 持つと 前が 見えないことが ある かもしれません。
- 人や ものに ぶつかることが ある かもしれません。
- 帽子を かぶって ください。

## 国際交流サポーターを募集しています

当協会では、国際交流サポーターを随時募集しています。登録を希望される方は、ホームページより登録用紙をダウンロードしていただき、ご記入の上、メール・郵送・持参のいずれかにより当協会へご提出ください。なお、国際交流サポーターへの連絡方法は、基本的にメールとなるため、メールアドレスのご記入が必須となります。



語学サポーター	通訳や翻訳をはじめ、多文化共生に伴う、外国人への対応（法律相談・災害時多言語支援・医療通訳等）にご協力いただける方
ホストファミリーサポーター	国の方々をご家庭で受入れ、お互いの文化や習慣を理解し合う気持ちをお持ちの方
イベント等ボランティア	国際交流イベントへご協力いただける方や当協会ラウンジ業務等をサポートいただける方

詳細は、\*協会ホームページトップ → 協会のご案内 → 国際交流サポーター

URL : <http://www.kokusai-koryu.jp/about/volunteer/recruitment.html>





青森県国際交流協会 通訳相談員 金 美淑

小学6年生のとき日本に来た私の娘は、日本の小学校に1年間通っただけで卒業式を迎えました。卒業式では、みんながちゃんとした格好のスーツを着るのも初めて分かりました。韓国では卒業式の服装は自由です。それから校長先生に一人一人が名前を呼ばれることも、お花の植木鉢をもらうこともありません。代表の人が証書をもらい家族が花束を準備してあげます。ですから、卒業式の日学校の前は花売りで賑わいます。

卒業式の歌が歌われている間、私はずっと肩を動かしながら泣いていました。1年間お世話になった先生や友達にありがたいという気持ちはもちろん、歌詞そのものが青森で暮らしていた私たち家族の1年間の物語のように思われて、色んな思いがこみ上げて来たからでした。そして娘が今葛藤していること、不安を感じていること、泣いていることなどと別れてほしいという願いを私は肩で歌っていたのです。

♪懐かしい友の声 ふとよみがえる  
意味もないさかいに 泣いたあの時  
心通った嬉しさに 抱き合った日よ  
みんな過ぎたけれど 思い出強くだいて  
勇気を翼に込めて 希望の風に乗りに  
この広い大空に 夢を託して  
今 別れの時 飛び立とう 未来信じて  
はずむ 若い力 信じて  
この広い この広い 大空に  
(♪旅立ちの日に 2番)

日本に来たばかりのことを、私はある発表文にこう書きました。「子供たちと一緒に生活し始めた青森の3月は雪と風だけ、何も動くものはありませんでした。朝、カラスの鳴き声はアラームのように私を起こし、凍土の空を群れになって飛んでいる白鳥の羽ばたきからは春は全く感じられませんでした。雪は空の上からではなく下から吹き上げ、視野を遮りながら降りすさぶ地吹雪で『八甲田山』という映画の白い地獄のことが分かって来ました。防水でないジーンズを履いて外に出た時、雪に降られるとズボンの上に雪が積もり、体温で少しずつ雪が溶けていく。今度はその濡れたズボンから湿った感触が皮膚に染みってくる冷たさは、自然に涙が出るほど痛みを感じさせるものでした。晴れる日は少なく、雪が降り続いて積もると昼の間でも雪の冷気が感じられ、むしろ

風の吹かない夜の方がもっと暖かいところが青森でした。小島一郎さん(昭和30年代の青森市出身写真家)のレンズは、天と地の間に住んでいる青森の人々に焦点を合わせていますが、雪原に小さな点になって生きて行く人々のところ、それでいて5月に訪れる青森の春は青森の人々の心にも白鳥不在の春が寂しくはありません。この時期になると、全ての花が一斉にオーケストラで競演し、もしたくさんの花たちが話をするのでしたら、その振動は100デシベルも超える大変な騒音になるでしょう。

私と子供たちの日本での生活を一言で言うと『衝突と忍耐』です。食べ物、生活習慣、天気、学校生活等、順調には行かなかったです。学校生活が始まってからはむしろ、私の方がもっと緊張したり、心配したりしました。校長先生と担任の先生に誘われ、毎日授業の参観ができました。子供が授業の内容が聞き取れなくて分からない顔をしていたり、顔を机にうずめたり、困った顔でため息をついたりするのを見ているのは、母親としてつらい思いをさせられました。もし子供が、韓国に帰りたい! 学校に行きたくない! といったら私はどう答えたらいいのかが毎日が不安の連続でした。私が子供のためにできることは、おいしい食事を作ること、算数のテストで10点をもってがっかりしている子供に「10点ももらったの?」と喜んであげること、そして日本と日本人のよさを聞かせてあげることぐらいでした。また友達が遊びに来たらよくしてあげたり、毎日クラスみんなに「よろしく」を何回も何回も言いながらお願いをすることでした…」

子供たちの学校は青森駅からバスで20分、家から歩いて5分ぐらいの、とても近いところに位置していました。学校でも韓国人の児童が突然、転校して来たことで言葉の問題による授業の進め方に校長先生以下、担任の先生たちも大変、苦心しているようでした。校長先生は韓国人の児童二人の授業に対して、他の学校の事例を探したり、電子辞書まで購入して授業に役に立つように気を配って下さいました。また担任の先生たちはクラスの子供たちに私の子供が大変な目に遭わないように配慮してあげること、困ることなどが起きると積極的に手伝ってあげてくれることを頼んでいました。校舎は外から見ると、古い建物でしたが、その内にいる先生たちの献身的な姿に私は心を打たれました。

(つづく)



2013年 水連沼にて

## 青森県内の国際交流事業・イベント紹介

### ●あおり地球市民ネット

#### \*あおり地球市民講座

「素人」が集まって「語り合う」場があっても良いのでは？ チョッピリ背伸びして語り合いませんか。

#### テーマ「私が出会った女性たち」

#### 第一部 話題提供

ザンビアへ青年海外協力隊（保健師）として派遣された方が、現地で見聞したことをお話しします。

#### 第二部 豆知識—世界の女性版

女性が置かれている実情を理解するための語句をおさらいします。今回は「遺産相続」を取り上げる予定です。

#### 第三部 意見交換

■日 時：2021年2月6日（土） 午後1時～4時

■場 所：アピオあおり 小研修室3

■定 員：11名 ■参加料：無料

\*参加ご希望の方は、事前に連絡してください。

\*新型コロナ対策としてマスク着用、検温等にご協力をお願いします。

■お申込み・お問合せ先：事務局・千葉さん

TEL/FAX：017-736-3235

\*電話で連絡をくださる方は留守電にメッセージを残してください。折り返しご連絡します。

E-mail：aba-agcn@actv.ne.jp



\*あおり県民力レソジの単位認定講座です

### ●一般社団法人 国際にほんご教育センター (IJEC)

#### \*オンライン公開講座「日本語を教えてください！」

2021年3月からの講座です。

■日にち：3月6日（土）・7日（日）

13日（土）・14日（日）

■時 間：10：00～12：00

■対 象：日本語指導に興味がある方  
ZOOM環境が整っている方

■受講料：無料 ■定 員：20名

\*お申込みは：弘前市大清水4-8-6 (IJEC事務所)

電 話：0172-38-7707

メール：Email：i.nihongo.e.c@ijec.jp

☆初心者の方も大歓迎です。

☆お気軽にお問い合わせください。

### ●「みんなの応援隊」今年度活動休止のお知らせ

みんなの応援隊ネットワークは、下記のとおり活動を自粛させていただきます。新型コロナウイルス感染状況が依然として厳しいことから、今後の活動は困難であると判断しました。

・活動名称：無料食卓会「楽しくおいしいランチ教室」 ・自粛継続期間：2020年10月1日～2021年3月末日

【活動場所である市民センターの料理室利用規制について】

現在、一般団体での調理・飲食は少人数であってもできない状況です。また利用規制期間についても未定です。

### \*本年も青森県国際交流協会へのご愛顧をたまり、まことにありがとうございました\*

一足先に当協会外国人通訳相談員より、母国の言葉で新年のごあいさつを申し上げます。

みなさま、よいお年をお迎えください。来る年もよろしく願いいたします。

[ベトナム語]

チュック ムン ナム モイ  
**Chúc Mừng Năm Mới**  
あけましておめでとうございます

[韓国語]

セハボッ マニ バドゥセヨ  
**새해 복 많이 받으세요**  
新年あけましておめでとうございます

[中国語]

シンニエンクアイラ  
**新年快乐!**  
あけましておめでとうございます!

[英語]

**A Happy New Year!**  
あけましておめでとうございます!

チュック モット ナム トット ラン  
**Chúc một năm tốt lành**  
良い年でありますように

チョウンヨンマル ボネシギ パラムニダ  
**좋은 연말 보내시기 바랍니다**  
よいお年をお迎えください

ジシイアルウイ  
**吉祥如意!**  
今年も一年順調に過ごせますように!

**May Your Dreams Come True!**  
夢がかないますように!

## 公益財団法人青森県国際交流協会 Aomori International Association

### 国際交流ラウンジ/International Lounge

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40  
青森県観光物産館アスパム2F  
ASPAM BLDG. 2F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.  
Post-Code : 030-0803  
TEL : 017-718-5147 FAX : 017-718-5148  
E-mail : lounge\_supporter@kokusai-koryu.jp

### 事務局/Office

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40  
青森県観光物産館アスパム7F  
ASPAM BLDG. 7F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.  
Post-Code : 030-0803  
TEL : 017-735-2221 FAX : 017-735-2252  
E-mail : info@kokusai-koryu.jp



### \*国際交流ラウンジカウンター/青森県外国人相談窓口

受付時間/10：00～17：00

休日/毎週月曜日 年末・年始休日/12月31日～1月4日

アスパム休館日 2021年2月23～24日

Website : <http://www.kokusai-koryu.jp>

<https://www.facebook.com/aomori.kokusai.koryu>

<https://twitter.com/aomorikokusai>